

# 2016年度 協力伝道週間

## 2017年1月29日(日)～2月5日(日)

皆さまから届けられた協力伝道献金を、豊かに実らせてくださる主に感謝し、一部を紹介します。

**＝祈りをつなぐ協力伝道＝**  
「やしない」「きょうりよく」「まじわり」



1950年7月に『バプテスト』誌は第一号が発行され、67年目を迎えました！メッセージやQ & A、証し、全国各地からのニュース、理事会や宣教部のニュースなどを通して、協力伝道の働きを共に喜び、共に祈り、支えましょう！また、「協力伝道カレンダー」を用いて、日ごとの教会・伝道所、また連盟各委員会や関係団体などを覚えて、祈りの輪をつないでいきましょう！

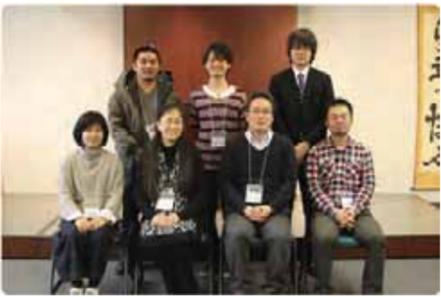
「協力伝道カレンダー」は連盟ホームページからダウンロードして印刷することができます。

**新任牧師・主事研修会**  
2017年2月27日～3月3日(連盟事務所)



2017年3月に神学校を卒業し、連盟加盟教会・伝道所に牧師や伝道師、主事等の教会スタッフとして赴任する予定の方や近年赴任されていて本研修会に未参加の方を対象にした研修会です。毎年この研修会を通して、それぞれの働きが始まってからも相互に励まし合い、研鑽し合う、出身神学校の枠を超えた同労者の交わりが生まれています。

**神学校入学前研修会**  
2016年3月11～12日(連盟事務所)



主から召命をいただいた者が、どのような祈りによって支えられ、どんな学びを期待されているのか共有するため、また、今後も祈り合う仲間となっていくため、実施します。神学校に進学することは明確ではないが、献身を考えていきたいと祈りが与えられている方には、2017年5月「献身キャンプ」を開催する予定です。

**宣教師/AMC/IMV**  
カンボジア・インドネシア/シンガポール/ルワンダ



インドネシアに野口日宇満宣教師・野口佳奈宣教師、カンボジアに嶋田和幸宣教師・嶋田薫宣教師を派遣しています。また伊藤世里江アジア・ミッション・コーディネーター(シンガポール IJCS牧師)をたて、アジア諸国のバプテストとの協働をしていきます。佐々木和之国際ミッション・ボランティア(ルワンダ)の働きも合わせ、和解の福音に仕える働きを目指しています。BWA、APBFに加盟、世界大会への人材派遣や災害支援を通しての国際協力を行っています。連盟の国外伝道は、日本バプテスト女性連合世界バプテスト祈禱週間献金により支えられています。

**全国少年少女大会**  
2016年8月2～5日(天城山荘)



2年に一度の全国大会が天城山荘で開催されました(少年少女90名参加)。水野英尚先生から「はだかのいのち～みんなおなじ、みんなちがう」と題してメッセージを聞きました。ある少年少女の感想を紹介します。「いのちが老いていくなかで死にかわる、のではなく、いのちの中にあっていつも隣り合わせだということ。はだかのいのちを探すとともに他人のはだかのいのちを受け入れられる人になりたい。」

**伴走ひろばin天城**  
2016年8月2～5日(天城山荘)



「伴走ひろば」のコンセプトは、大人も青少年も高齢者も子どもも、教会全体が互いに育まれていく存在である、という認識に立って、互いの声を聞くことから始めよう、です。今年は天城山荘で開催(22名)安積力也先生からの「あなたは私を生きているか」との問いと、聖書のメッセージを聞き、互いの思いを聴きあいました。「教会が私にとっても青少年にとっても私を生きる場であるように一緒に歩んでいきたい」との感想が届きました。

**『聖書教育』フォーラム**  
2016年9月19日(札幌)



北海道バプテスト研修センター主催信徒セミナーの牧師グループ・ワークショップで『聖書教育』フォーラムを開催しました。編集委員、執筆者の発題を聞き、各教会、教会学校の現状や各教会においてどのように『聖書教育』が用いられているか、良い点、課題など率直な意見が交わされました。少人数、短時間でしたが、直接、顔と顔を合わせることの大切さに気付かされ感謝な時となりました。

**全国礼拝音楽研修会**  
2016年5月4～6日(天城山荘)



12回目となる「礼拝と賛美」を中心とした学びと実践の研修会で、各世代から総勢170名が天城山荘に集まり、奏楽、聖歌隊等訓練の他に、「教会学校」「青少年」「子どもともなる礼拝」「日本語以外で礼拝する教会」など、多くの視点から礼拝を学びました。「賛美歌ことばのフォーラム」からも教会をたてあげる「賛美のことば」の意識化が促されました。

2017年度の各集金は宣教部各室までお問い合わせください。

# 協力伝道献金目標額 1億4500万円

協力伝道パンフレットを用意しております。協力伝道週間の祈禱会など、交わりの中でお使い下さい。お問い合わせは宣教部国内伝道室まで。